

農林水産省食料産業局
食品製造課 御中

令和２年度食品製造業における生産性に関する調査委託業務 報告書 概要版

2021年3月8日

みずほ情報総研株式会社

1. 現状調査・情報収集

(1) 日本の食品製造業の産業特性と生産性の変化	5
(2) 欧州の食品製造業の産業特性と生産性の変化	13
(3) 業種別、国別の代表ブランド・企業のシェア	40

2. 現地調査

(1) 食品製造業の業界構造	54
(2) 食品製造業のM&A、新規参入及び企業間連携の状況	60
(3) 食品製造業のAIやロボット及びIoTなどの先端技術の活用状況	64
(4) 食品製造業の流通構造	67
(5) ヒアリング結果	74

3. 分析、検証及び課題の整理

(1) 調査項目間の分析、各調査項目間（及びポジショニングマップ等の分析	94
(2) 日本の食品製造業における生産性向上に向けた課題	96
(3) 生産性向上、イノベーション促進のための施策	98
(4) 国内の食品製造業全般にわたる合理化案	105

目的

- 食品製造業は、人手を要する工程が多い労働集約的な産業であり、他の製造業と比べて労働生産性が低い状況にある。また、国内における生産年齢人口は減少傾向にあり、今後、人手不足克服の観点からも、更なる食品製造業の効率化が求められている。
- 一方で、食品製造業における中小企業の割合は99.6%と高い水準にあり、大がかりな自動化や機械化に取り組むことが難しい事業者も少なくない。このため、事業再編等を通じた生産規模の拡大、設備投資等により、製造コストの低減や製品の付加価値向上などの体質強化を図ることが重要になっている。
- こうした点を踏まえ、本調査では、食品製造業の産業構造についての国際比較を行い、食品製造業の合理化に関する施策を推進していくための検討材料を得ることを目的とする。

対象業種の整合

- 農林水産省担当者様との調整の結果、日本標準産業分類で区分された下表左列の12業種を対象業種に対して、国際標準産業分類との整合を取った

調査対象業種の一覧

農林水産省様の要望分野（日本標準産業分類）	国際標準産業分類
①野菜缶詰・缶詰・農産保存食料品製造業	①果実及び野菜加工・保存業
②野菜漬物製造業	
③豆腐・油揚げ製造業	
④味噌製造業	②他に分類されないその他の食料品製造業
⑤しょう油・食用アミノ酸製造業	
⑥ソース製造業、食酢製造業	
⑦製茶業、コーヒー製造業	
⑧パン製造業	③パン製品製造業
⑨ビスケット類・干菓子製造業	
⑩めん類製造業	④マカロニ、麺類、クスクス及び類似の穀粉製品製造業
⑪冷凍調理食品製造業	⑤調理食品製造業
⑫清涼飲料製造業	⑥ソフトドリンク、ミネラルウォーター等製造業